

第 14 回日韓国際シンポジウムのお知らせ

「国際理解とメディア・コミュニケーションの社会的責任」

2008 年 9 月 1 日
日韓シンポジウム実行委員会

期 日：2008 年 9 月 20 日（土）

会 場：同志社大学・今出川校舎新町キャンパス 臨光館（りんこうかん）

〒602-0047 京都市上京区新町今出川上ル

JR 京都駅から地下鉄烏丸線今出川（いまでがわ）駅下車徒歩 5 分

地図：http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_campus.html

問い合わせ先：同志社大学社会学部事務室 電話：075-251-3411 FAX ス：075-251-3031

参加費 1,000 円（資料代を含む）

懇親会参加の方 3,000 円（資料代を含む）

会員、非会員ともに同額になります。

当日、受付でお支払ください。

会場整理の都合上、**9月10日（水）までに**学会事務局あて Fax でご連絡ください。

Fax 03-5275-8617

〈午前の部〉

9:30 開 場

10:00 開会 会長挨拶

大井 眞二（日本マス・コミュニケーション学会）

権 赫南（韓国言論学会）

10:10-12:10【セッション1】 日韓関係とマス・メディアの果たす役割

■日本側報告者 「ICFP-JAPAN・東明大学校言論情報研究所 共同調査より」

田中 則広（NHK 放送文化研究所 専任研究員）

■韓国側報告者 「隣接国家間の映像物の取引における文化的割引概念の再考の
ための試論」

林 柁秀（ソウル女子大学校言論映像学部 教授）

■日本側討論者 萩原 滋（慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 教授）

■韓国側討論者 韓 美静（漢陽大学校広告広報学部 教授）

12:10-13:10 昼食

〈午後の部〉

13:10-14:10 基調講演

- 日本側 伊藤 陽一 (慶應義塾大学名誉教授・国際教養大学大学院教授)
- 韓国側 元 祐鉉 (KDI 国際政策大学院教授・元韓国言論学会会長)

14:10-15:10 【セッション2】 日韓の相互理解とジャーナリスト、メディア研究者の役割

■ 日本側報告者

「日韓の相互理解とメディア史研究の可能性ー東アジア・メディア史の構築に向けてー」

小林 聡明 (神奈川大学人文学研究所 研究員)

■ 韓国側報告者 「日韓特派員報道の傾向ー『朝鮮日報』と『読売新聞』を中心に」

洪 垠姫 (明知大学教授)

15:10-15:30 コーヒーブレイク

15:30-16:30 討論

■ 日本側討論者

橋本 晃 (東京国際大学)

■ 韓国側討論者

金 正鐸 (成均館大学校社会科学部教授)

16:30 閉 会

17:00 懇親会 Hamac de Paradis Latte (同志社大学・寒梅館内)

【韓国言論学会シンポジウム参加者名簿】 (漢字表記が正しくない場合もあります)

元 祐鉉 (KDI 国際政策大学院教授: 元韓国言論学会会長)

林 柁秀 (Yim, Jungsu: ソウル女子大 学校言論映像學部教授)

洪 垠姫 (Hong, Eunhee: 明知大 学校デジタル映像學科教授)

韓 美靜 (Han, Mijeong: 漢陽大 学校廣告弘報學部 教授)

金 正鐸 (KIM, Jeong Tak: 成均館大 学校社會科學部教授)

權 赫南 (Kwon, Hyoknam: 韓國言論學會長)

李 鍊 (Lee, Yeon: 鮮文大 学校言論廣告學部教授)

李 尙勳 (Lee, Sanghoon: 全北大 学校教授: 総務担当理事)

薛 眞娥 (Seol JInah: 韓國放送通信大 学校媒體映像學科 教授: 総務担当理事)

韓 均泰 (Hahn, Kyuntae: 慶熙大 学校言論情報學部 教授: 前韓國言論學會長)

金 鼎基 (Kim, Jung Kee: 漢陽大 学校新聞放送學科教授: 次期韓國言論學會長)

蔡 熙相 (Chae, Heesang: 韓國言論學會事務局長)